

仮想企業が全国1位

トレードフェア 社会人受講生も入賞

京都府で開かれた仮想企業展示会「トレードフェア2006」で、共愛学園前橋国際大(前橋市小屋原町)の四年生、小沼恵さん(22)と青木絢さん(21)が運営する「繭美蚕(まゆみさん)」が大学生部門で昨年に続いて全国一位に輝いた。社会人受講生五人の「とんとん拍子」も特別部門で入賞した。



展示優秀賞を獲得した繭美蚕の小沼さん(左から2人目)、青木さん(同3人目)と兼本助教(左)、門倉社長(右)

繭美蚕は前橋市の門倉メリヤス(門倉重行社長)の支援を受けて商品開発

に取組み、繭の毛羽をとの連携を深めたい」と和紙のように加工したラップシールドとニット状の絹にポプリを詰めた香り袋を出品。展示優秀賞を獲得した。

とんとん拍子は桐生市の肉の加藤の協力で、上州豚豚に栄養価の高い米ぬかを使った衣をまぶした「ぬか豚」を開発。真空パックで包装し、ネット販売ができるようにした。京都工業会賞に選ばれた。

フェアはホームページ上で商取引を体験している仮想企業四十社が集まり、商品の販売と企画発表を競い合った。国際大は本県の特産品を使った新しい商品開発をテーマに七社が参加した。

七社を指導した兼本章助教は「二年続けて好成績が収められた。ゼミの一環として時間をかけて開発し、地元企業

との連携を深めたい」と話している。

H.18.11.30 上毛新南

トレードフェアで全国1位

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学(前橋市小屋原町115)は、このほど、京都府4-4、栗原昭正学長(027-2266-757)が開かれた「バーチャル・カンパニートレードフェア」展示部門で優秀賞(全

国1位)を獲得した。

トレードフェアとは社会的な課題解決をテーマに新しい商品を提案し、それを扱う仮想企業(バーチャル・カンパニー)を設立・運営する小学生から大学生の成果発表会で今年が6回目の開催。同校は3回目の参加となる。前年度は最優秀賞をはじめ4グループが入賞を果たした。

今年度は賞の形式が変わり展示、プレゼンテーション、HPの各部門それぞれ1位のみが評価されることになった。展示部門で全国1位になった「繭美蚕(まゆみさん)」は昨年度最優秀賞を獲得しており事実上の2連覇。

門倉メリヤス(前橋市)の協力を仰いで「オーダラップ」絹からのやさ



全国1位を獲得した「繭美蚕」

しい贈り物」などの商品開発を行った。

総合部門では「株式会社とんとん拍子」が京都工業会賞を受賞した。支援企業の加藤精肉店協力の下、上州豚豚を使った「ぬか豚」「沙羅莉(さらり)」といったこれまでにない豚肉の食べ方・商品を考えてことが高く評価された。支援企業には群馬県食肉公社・群馬県食肉卸売市場も加わった。

また、今回から新設された「アントレ教育指導者賞」を兼本章助教が受賞した。

H.18.12.14 <人経済新南